

## 1 2 総合的な学習の時間の全体計画

<p>(児童の実態)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な生活習慣は身につけている。</li> <li>・地域に見守られている。</li> <li>・人前で話すことが苦手</li> <li>・人間関係が限られている。</li> </ul>	<p>豊かな心を持ちたくましく生きる 宿小っ子</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 心やさしい子ども</li> <li>2 自ら学ぶ子ども</li> <li>3 たくましい子ども</li> </ol>	<p>(地域の願い)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宿戸の海を知り、大切にし、いかしてほしい。</li> <li>・みんな元気に、いきいきと過ごしてほしい。</li> </ul>	<p>(学校・地域の実態)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの自然、素材</li> <li>・支援体制</li> <li>・小規模校</li> <li>・キャリア教育の宝</li> </ul>
---	---	--	--

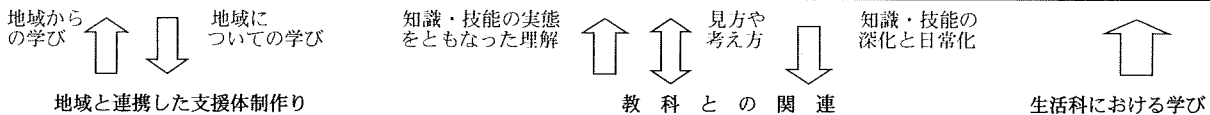
総合的な学習の時間の目標	体験的な学習や問題解決的な学習等を通して、地域の素晴らしさに学びながら、児童に自ら学び自ら考える力を育成し、学び方やものの考え方を身に付けさせるとともに、各教科等で身に付けた知識や技能等を相互に関連付け、それらが相互に働くようにし、自己の生き方について考えることができるようにする。
--------------	---

### 総合的な学習の時間において身に付けさせたい3つの力

<p><b>学び方</b></p> <p>○課題解決の学習過程や、追究のためのいろいろな学習活動の仕方を習得する。</p>	<p><b>自分の考えをもつ</b></p> <p>○事象の比較や要因の考察をもとに、論理的な考え方をし、自分の考えをつくりだす。</p>	<p><b>学びを生かす</b></p> <p>○各教科で得た知識や技能等を相互に関連付け、学習や生活においてつかう。 ○学んだことを問題解決に生かし、自己の生き方を考える。</p>
---	---	---

	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年
各学年の目標	課題解決的な学習の進め方を体験を通して友達や教師とともに学び、情報の収集の仕方やまとめ方を身に付け、事象を比較したり、前後関係をつかんだりしながら筋道立てて自分の考えをもつとともに、活動の中で各教科等での学びを生かす力を育成する	課題解決的な学習の進め方を体験を通して自ら学び、課題の設定の仕方、情報の収集の仕方やまとめ方を身に付け、事象を比較したり要因を考えたりしながら筋道を立てて自分の考えをもつとともに、活動の中で各教科等での学びを生かす力を育成する。	自ら明確な課題を設定し、課題解決のために、様々な調査活動を行い、分かったことに自分なりの考えをもつことを通して、人、物、ことと自分とのかわりを多面的にとらえ、生き方を見つめるとともに、各教科等での学びを意図的に関係付けていく力を育成する。	新しい学びを獲得しようと、学んだことを結びつけたり、応用したりしながら、自分の考えを深め、見直しをもって自ら課題を解決することを通して、自分と社会とのかわりを見つめ直し考え方やよりよい生き方をめざそうとする力を育成する。
評価の観点	○ 活動への関心・意欲・態度	○ 活動にかかわる技能・表現(学び方)	○ 総合的な思考・判断(自分の考えを持つ)	○ 総合的な知識・理解(学びを生かす)
指導過程	<p>①テーマをもつ → ②調べる → ③テーマをまとめる → ④発信する → ⑤自分を見つめる</p> <p>・身近な事象から明確な課題をみいだす。      ・いろいろな方法を使って課題を追究する。      ・集めた情報を整理し、課題を解決する。      ・学びの成果を発信する。      ・自分自身の成長を見つめ自信をもつ。</p>			

	時 数	70	70	70	70
単元名	宿戸うみプロジェクト	<p>* 発見！宿戸探検隊 (55)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域探検 (岡谷、シタケ・ウニ あわび・駅・店・工場等)</li> <li>・「マップ」</li> <li>・インタビュー</li> </ul> <p>・すごいぞ！！発表会</p>	<p>* 学ぶ！宿戸の知恵袋 (30)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宿戸の昔の暮らし</li> <li>・津波</li> <li>・乗り越えた知恵</li> </ul> <p>* より暮らしやすい宿戸へ (25)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャップハンディ体験</li> </ul>	<p>* 米作りにチャレンジ (40)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・やませにたちむかい、なせ米を作るのか</li> <li>・米を食べられなかった歴史</li> <li>・米作り体験</li> <li>・やませを生かした産業</li> <li>・収穫祭をしよう</li> </ul>	<p>* 発信！ぼくたちのえがく宿戸の未来 (25)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>宿戸のウニはなぜ高いのか</li> <li>・先人の努力</li> <li>・現代の先輩の努力</li> <li>・海や森作りの努力</li> <li>・将来の自分たちにできること宿戸のよさを伝える。</li> </ul>
	輝け宿小っ子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オリエンテーション (3)</li> <li>・栽培活動 (7)</li> <li>・小子内ソーラン (5)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オリエンテーション (1)</li> <li>・栽培活動 (7)</li> <li>・花壇作り (2)</li> <li>・小子内ソーラン (5)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・輝け！宿小合奏部 (15)</li> <li>・チャレンジ！ザ！野活！ (15)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伝えよう！「四季の海」 (15)</li> <li>・フリープラン(仙台松島) (15)</li> <li>・卒業に向けて (15)</li> </ul>
海関連	海洋教育	* 海探検 (総合)	* 津波の出前授業 (総合) * ウニの森づくり植林 (課外)	* 水産教室 (社会) * ウニの森づくり植林 (課外)	* ウニの森づくり植林 (課外)



<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域の教育的資源の活用</li> <li>・文化的行事</li> <li>・地域のフィールド等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域の方々からの協力、支援</li> <li>・漁協、農協、地域の商店等</li> <li>○地域の専門家からの協力、支援</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域施設・機関の活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域の人材バンク</li> <li>○知識人からの協力、支援</li> </ul>

### 家庭と連携した支援体制作り

<ul style="list-style-type: none"> <li>○支援ボランティア</li> <li>○家庭への広報活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全方面</li> <li>・作業面</li> <li>・等</li> </ul>
--	--

教科	教科等で培った力を発揮し総合的な学習の時間でさらにのばす。
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手や目的に応じ、筋道を立てて話したり、的確に聞き取ったりすること</li> <li>・相手や目的に応じて、筋道を立てて文章を書くこと</li> <li>・目的に応じ、内容の中心を考えたり、要旨を把握したりしながら読むこと</li> </ul>
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会的事象を的確に観察・調査し、各種の資料を効果的に活用し、調べたことを表現すること</li> </ul>
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事象を数理的にとらえること</li> <li>・数量や図形についての表現や処理にかかわる技能</li> </ul>
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然事象の性質や規則性、相互の関係等への理解</li> <li>・観察・実験の技能と、過程や結果の的確な表現</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科の学びをつかう</li> <li>・考えたり工夫したりする。</li> <li>・自分を通じた気付きをする。</li> </ul>
---

### 道徳指導の重点

<ul style="list-style-type: none"> <li>・生命尊重</li> <li>・思いやり、親切</li> <li>・不撓不屈・尊敬感謝</li> <li>・郷土愛・自然愛</li> </ul>
---

# 海とともに生きる

—地域とともに、海を学び発信しよう—

## 1. はじめに

「海と高原のまち」洋野町は、岩手県沿岸部の最北端に位置し、青森県と接する太平洋に面した町です。

宿戸小学校は洋野町の北東部にあり、明治11年に創立された学校で、今年度創立138年目を迎えます。

地域の皆さんが所属する種市南漁協では、ホヤ、ウニ、あわびの漁がさかんです。そこで宿戸小学校では、「宿戸うみプロジェクト」として、2年生から地域に根ざした海洋教育の一環として、生活科や総合的な学習の時間に地域学習を取り入れています。



## 2. ねらい

- (1) 海洋学習における探究的な活動や体験的な活動を通して、地域の素材を生かした地域振興を理解し、自分たちがどのように地域に関わり、貢献していけばよいかを考える機会とする。
- (2) 植樹や稚ウニ放流などの活動を通して、自分たちの住む沿岸地域が、内陸地域とどのようにつながっているかを知り、協働的に課題解決する能力を養う。
- (3) 学習した内容を、聞く人により深く伝えるためにはどうすればよいかを考え、まとめ方や発信の仕方を工夫する力を育成する。
- (4) 地域の「宿戸の海を知り、大切にし、共存しながら活かして欲しい。」の願いを受けて、小中学校で連携した地域学習を行い、「地域とともにある学校」を推進する。

## 3. 学習活動の概要

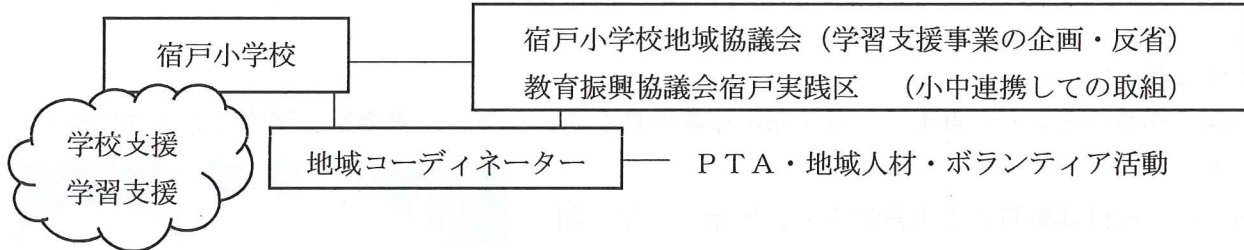
### (1) 学年ごとの学習内容

※総合的な学習は、国語・理科・社会等の教科とも関連させて実施

宿戸うみプロジェクト	2 学年 (生活科)	3 学年 (総合的な学習の時間)	4 学年 (総合的な学習の時間)	5 学年 (総合的な学習の時間)	6 学年 (総合的な学習の時間)
	<u>海に親しもう</u> ・船に乗ってみよう ・稚ウニを放流してみよう	<u>発見!</u> <u>宿戸探検隊</u> ・地域探検をしよう (しいたけ、ウニ、あわび等) ・マップ作り、インタビューをしよう	<u>学ぶ!</u> <u>宿戸の知恵袋</u> ・宿戸の昔のくらしを調べよう ・津波を乗り越えた知恵	<u>守る!</u> <u>宿戸の海と生物</u> ・水産教室を通してウニの成長を確認しよう ・ウニの乱獲を防ぐ知恵 ・ウニのむき方	<u>発信! ぼくたちのえがく宿戸の未来</u> ・宿戸のウニの高価なわけ ・先人の努力 ・海と森作りの努力 ・宿戸のよさを伝えよう ・将来の自分たちにできること

他に、全校で学校や海の周囲を清掃する「クリーンアップ作戦」の実施、長年歌い継がれている宿戸の春夏秋冬の海を歌った「四季の海」の全校合唱奏を学習発表会で実施。また夏季休業中にも、小学生を対象に地域で「海に親しませる会」を実施している。

## (2) 宿戸小学校地域ネットワーク



## (3) 活動の実際

- ①植樹、枝切体験（4年以上）…よい海を作るための森づくりの体験<海を守る>
- ②稚ウニの放流体験（2年）…地元の海に親しみ、宿戸に愛着をもたせる体験<海に親しむ、海を守る>
- ③塩作り体験（6年）…地域産業の特色を知る体験<海を知る>
- ④ウニの採取、殻むき体験（5年）…地域の人々がどのようにして海の恵みを享受してきたかを知る体験<海を利用する>
- ⑤修学旅行における塩の奉納（6年）…以前盛んだった製塩業について理解し、海からの恩恵の偉大さを知る。<海を守る>
- ⑥宿戸クリーンアップ作戦（全学年）…清掃活動<海を守る>
- ⑦「四季の海」の合唱奏（全学年）…身近な海への想い、伝統を引き継ぐ。



枝切体験



稚ウニの放流体験



塩の奉納

## 4. 成果と課題

### (1) 成果

- ・実際の体験活動、地域の方々のお話から、地域の伝統的な産業や取組の工夫等が分かり、知識・技能の習得につながっている。
- ・まとめたり整理したりして情報発信をするための作業から、思考力・判断力・表現力の育成が期待できる。

### (2) 課題

- ・小中連携の観点から偏りのない9年間を見通した指導計画の作成が必要である。
- ・様々な活動が行われているので、整理したり記録を残したりして受継ぐことが必要である。

## 10 環境教育指導計画

### 1 目標

- (1) 地域の自然現象、社会現象に目を向ける機会を多くし、自然を大切にしようとする心を育てる。
- (2) 自己を取り巻く環境について、発達段階に応じて考え、行動できる子どもを育てる。
- (3) 地球全体における環境問題に関心を持ち、自分たちができることを考え、実践しようとする態度を育てる。

### 2 指導の重点

- (1) 自然の中で自発的な遊びや体験を通じて、自然に対する豊かな感受性を養う。
- (2) 自分の身の回りの事象について、活動や体験を通して考えさせる。
- (3) 身近な問題を重視し、その中からよりよい環境づくりや環境保全を考えさせ、行動を喚起させる。

### 3 指導内容

#### (1) 生活科

- ア 子どもたちの生活から環境を見つめる。
- イ 自分の夢や願いをかなえるために環境に働きかける。(意欲・態度)
- ウ 環境と自分とのかかわりについて考え、表現する。(思考・表現)
- エ 活動を通して、環境について認識を深める。(気づき)

#### (2) 社会科

- ア 子どもたちの生活から環境を見つめる。
- イ 生産・消費・廃棄のリサイクルの視点からとらえる。
- ウ 計画的・協力的な活動の視点からとらえる。
- エ 文化・開発の様子からとらえる。
- オ 環境としての国土の理解を深める。
- カ 日本と世界の関わりを考える。

第3・4学年 → 「地域の産業や消費生活の様子」

「地域社会における災害及び事故から人々の安全を守る」

「飲料水、電気、ガスの確保や廃棄物の処理」

第5学年 → 「我が国の農業や水産業」「我が国の工業生産」「我が国の国土の自然」

第6学年 → 「世界の中の日本の役割」

#### (3) 理科

- ア 事象を生命尊重する立場でとらえる。
- イ 事象を人間生活と環境の人間関係という視点でとらえる。
- ウ 事象を循環の視点でとらえる。
- エ 事象を有限性の視点でとらえる。
- オ 事象を生命の連続という視点でとらえる。



- ・第3学年「植物、昆虫の育ち方」「光の性質」「日なたと日陰」
- ・第4学年「動物の活動や植物の成長」「空気と水の性質」「月や星」「電気のはたらき」
- ・第5学年「植物の発芽、成長、結実」「動物の発生や成長」「物の溶ける規則性」「天気の変化」
- ・第6学年「人および他の動物の体のつくりと働き」「生物と環境とのかかわり」  
「水溶液の性質や働き」「燃焼のしくみ」「土地のつくりと変化」

(4) 家庭科

- ア「衣服への関心」
- イ「食事への関心」
- ウ「住まい方への関心」

(5) 総合的な学習の時間

- ア 環境・健康等の横断的・総合的な課題
- イ 児童の興味・関心に基づく課題
- ウ 地域や学校の特色に応じた課題
  - ・第3学年「発見！宿戸たんけんたい」
  - ・第4学年「よりくらしやすい宿戸へ」
  - ・第5学年「米作りに挑戦」「チャレンジ・ザ・野活！」
  - ・第6学年「発信！ぼくたちの描く宿戸の未来」「フリープラン仙台・松島」

(6) 道徳

- ア 主として自然や崇高なものとのかかわりに関すること
- イ 主として集団や社会とのかかわりに関すること

(7) 特別活動

- ア 学級活動
- イ 児童会活動
- ウ 学校行事

4 実践にあたって

(1) 教科、道徳、特別活動の指導を通して

- ア 本時の学習内容に含まれている環境問題は何かを明らかにする。
- イ 環境問題を学習の展開の中にどのように位置づけるか指導方法を工夫する。
- ウ できるだけ身近な地域や生活とのかかわりを持った資料を活用する。
- エ 総合的な学習の時間の中に、身近な地域や自然に対する活動や体験を多く取り入れる。  
ユニバーサルデザインにも目を向けさせたい。
- オ 復興教育、海洋教育の指導を計画的に盛り込み、自分自身の生き方を考えさせていく。

(2) 日常活動の中で

- ア 清掃活動を利用した活動 <ゴミゼロ運動>
- イ 学級農園<1～4年生実施>、花壇の手入れ<4年生：花の苗植え>
- ウ 資源（アルミ缶・牛乳パック）の回収 <ボランティア委員会の活動>
- エ 海の生き物の世話<えさやり：ボランティア> 吹切守さんより